

# 市民海外派遣 ~各コース団長からのメッセージ~

問合せ 海外戦略課 ☎35-3346

今年で24回を数える市民海外派遣事業は、5月に実施した英語スピーチコンテストと公募試験(中学生のみ)で選出された60人がアメリカ、オーストラリア、中国に渡りました。参加者を代表して各団長の感想文を紹介します。

## アメリカコース



しらかわ はるな  
団長 白川 春奈 さん  
(斐太高等学校2年)

今回の市民海外派遣事業を通して、英語学習に対する見方が変わりました。今まで私にとっての英語とは、受験に必要なだから頑張らないといけない科目でした。しかし、実際に現地の方々と英語でコミュニケーションをとるうちに、英語はツールである、ということ強く実感しました。英語も、日本語と同じように、伝えたいことがあり、伝えたい相手がいるから使うものだ、ということに気づきました。これは当たり前のことかもしれませんが、私にとっては衝撃的なことでした。大学入試に必要なと言われる文法や単語にばかり目がいて、一番大切なことを見落としていたように思います。伝えようという気持ちが無いと、英語を学ぶ意味はないと思いました。テストの問題を解くための英語力よりも、外国人に道を聞かれても、会話しながら案内できるような英語力を身につけたいと思うようになりました。今回の事をきっかけに、より実践的な英語を身に付ける努力をします。



## オーストラリアコース



よこやま むいあ  
団長 横山 夢亜 さん  
(中山中学校3年)

私は、オーストラリアに行かせて頂きました。大変貴重な体験をさせて頂きました。本当に楽しかったです。私には、心に残っている事が二つあります。

一つ目は、ホームステイの事です。ホームステイでは、たくさんの良い経験が出来ました。中でも、パーティーに連れていってもらった事が心に残っています。たくさんの人達と交流できたし、本来の目的である英語を話す機会をたくさんもらったので良かったです。

二つ目は、学校訪問です。学校訪問では、笑顔のすてきな優しい心の子どもたちと出会いました。国がちがう私たちにもたくさん話しかけてくれたことで、改めて人の温かさを感じまし



た。もう少し英語が話せたら、もっとコミュニケーションがとれたと思いました。これからも英語の勉強を頑張っていきたいです。

このような、大変貴重な体験ができたのは市役所の方々、そして家族のおかげです。この度は、ありがとうございました。皆様のおかげで素敵な海外派遣でした。

## 中国コース



まえだ みなつ  
団長 前多 未夏 さん  
(東山中学校3年)

みなさんは中国に対してどのようなイメージをもっていますか。私は良いイメージをもっている方は少ないと思います。

しかし、私たちは研修を通してたくさんの中国の魅力を知ることができました。例えば街中に活気があることや、積極的に声をかけてくれる姿です。

この他にもたくさんの魅力があるのに、なぜ国交関係がうまくいっていないのでしょうか。私はその原因はお互いの良さを認める姿勢がないことにあると思います。だから、私たちから中国の魅力を発信していくことが重要だと思いました。中国の魅力をたくさんの人に知ってもらうことが中国の良さを認めていくことにつながると思います。

このように日本と中国の関係について考え直すことができたのも、たくさんの方々のおかげで中国に行くことができたからだと思います。そのことに感謝し、今回の派遣で得たことをこれからの生活に活かしていきます。

